

2023年10月6日  
気象業務支援センター

令和5年度第1回（通算第60回）気象予報士試験  
学科試験（一般知識）問3及び問8について

2023年8月27日に実施した第60回気象予報士試験において、学科試験（一般知識）の問3の問題は設定が適切ではありませんでした。また、問8の図(b)に正解を判断できない表現がありました。このため、この2問については下記のとおり採点処理いたします。

記

一般知識の問3は、気柱の一部の空気を違う温度にしたとき、地上気圧の最も低いものを選択する問題でした。

この問題については、高さの低い（密度の高い）層の気温が1℃高い気柱Bを正解として9月6日に公表していました。しかし、気柱の一部に温度の違いを与えると、その高度の下では気圧が変化し、同時に密度もその高度と地上までの間で変化するため、地上気圧の違いは温度の違う高さから地上までの範囲の密度の変化を考慮する必要があります。このため、正解を得るためには高度な数学的計算が必要となり、限られた時間内に正解を得ることは難しい問題となっていました。実際に、この効果を考慮して計算すると、公表した解答例とは異なり、気柱Cの方が気柱Bよりも地上気圧が低くなります。

一般知識の問8は、大気の南北断面において、等圧面、等温位面と地衡風及び温度風の関係が正しく示された図を選択する問題でした。

この問題のうち図(e)について、9月6日に公表した解答例では正しく示された図としていましたが、等圧面における温位と等圧面間の層厚の関係から誤った図とすべきでした。また、図(b)について、等温位面との関係から、上の等圧面は南側ほど温位が高く、下の等圧面では北側ほど温位が高くなっており、2つの等圧面の間の平均温度が南北どちらが高いか（層厚はどちらが厚いか）判断することができず、関係が正しく示されているか判断ができない図になっていました。

従いまして、一般知識の問3及び問8については、全ての解答を正解として採点処理することとします。

受験者の皆様にはご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

令和5年度第1回(通算第60回)

# 気象予報士試験

## 解答例

令和5年10月6日

この解答例の全部または一部を、無断で複製・転写することはできません。

一般財団法人 気象業務支援センター

---

## 学科解答

### 予報業務に関する一般知識

- |      |            |
|------|------------|
| 問 1  | ⑤          |
| 問 2  | ④          |
| 問 3  | 全て正解として採点※ |
| 問 4  | ②          |
| 問 5  | ⑤          |
| 問 6  | ②          |
| 問 7  | ①          |
| 問 8  | 全て正解として採点※ |
| 問 9  | ①          |
| 問 10 | ⑤          |
| 問 11 | ④          |
| 問 12 | ③          |
| 問 13 | ④          |
| 問 14 | ②          |
| 問 15 | ③          |

### 予報業務に関する専門知識

- |      |   |
|------|---|
| 問 1  | ② |
| 問 2  | ③ |
| 問 3  | ⑤ |
| 問 4  | ① |
| 問 5  | ⑤ |
| 問 6  | ③ |
| 問 7  | ⑤ |
| 問 8  | ④ |
| 問 9  | ② |
| 問 10 | ⑤ |
| 問 11 | ④ |
| 問 12 | ④ |
| 問 13 | ③ |
| 問 14 | ② |
| 問 15 | ① |

※ 一般知識の問3は問題設定が適切でなかったこと、問8の図に解答の判断が困難な表現があったことから、全ての解答を正解として採点処理します。  
9月6日に公表した学科解答は本資料の内容に差し替えます。